

船舶事故等調査報告書

平成25年11月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2013広第142号
事故等種類	衝突（棧橋）
発生日時	平成25年6月24日 07時55分ごろ
発生場所	岡山県倉敷市水島港 水島港西1号防波堤灯台から真方位004°4,000m付近 （概位 北緯34°30.3′ 東経133°44.2′）
事故等調査の経過	平成25年8月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	液体化学薬品ばら積船 英華丸、498トン 140419、岩井海運有限会社
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）
死傷者等	なし
損傷	本船 右舷船尾部外板に凹損及び擦過傷 棧橋 コンクリートに剝離
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、入船右舷着けで水島港JX日鉱日石エネルギー水島製油所A工場第3棧橋（以下「本件棧橋」という。）に着けるため、船長が船橋で操船に当たり、船首に一等航海士及び二等航海士を、船尾に機関長及び一等機関士をそれぞれ配置した。 船長は、左舷錨を使用して本件棧橋に向けて航行し、フォワードスプリング、ヘッドライン及びアフトスプリングを取った後、スターンラインを綱取りボートに渡した頃、船尾部が本件棧橋に接近したので、右舵一杯として前進をかけようとしたが、スターンラインが海上に浮いていたため、機関を使用できず、平成25年6月24日07時55分ごろ右舷船尾部が本件棧橋に衝突した。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 1、視界 良好 海象：波 なし、潮汐 上げ潮の中央期
その他の事項	本船は、本事故当時、船首部が本件棧橋から離れていた。 本船は、本事故当時、錨鎖を約3.5節繰り出していた。 船長は、実習で1回本件棧橋に着棧したことがあったが、船長になって初めての着棧であり、着棧作業中、船尾が本件棧橋に寄せられるので、右舵一杯として機関を使用し、船尾を本件棧橋から離していた。 本船は、直径約30cm及び直径約50cmのコルクフェンダーが装備されていたが、本事故当時、用意していなかった。

	本船は、船橋、船首、船尾配置間の連絡はマイクで行っていた。
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり あり なし 本船は、水島港の本件棧橋に着棧作業中、船尾部が本件棧橋に接近したことから、右舷船尾部が本件棧橋に衝突したものと考えられる。 本船が、フェンダーを用意していれば、本事故の発生を回避できた可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が、水島港の本件棧橋に着棧作業中、船尾部が本件棧橋に接近したため、本件棧橋に衝突したことにより発生したものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・着棧時は、フェンダーを用意しておくこと。